National Institute for Agro-Environmental Sciences

土壌のCO_2吸収「見える化」サイト

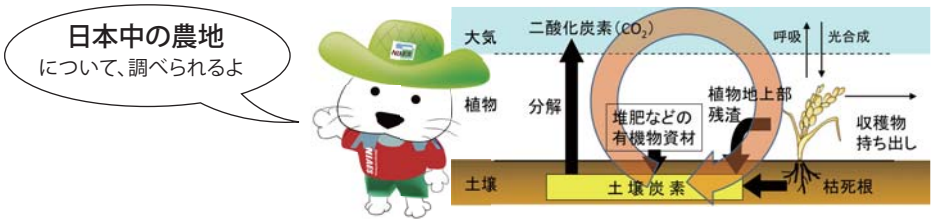
農地土壌に蓄積する炭素量の変化を計算し、土壌のCO_2吸収量として示すウェブサイトを公開しました。地図上で農地の場所を指定し、作物や管理方法を選ぶだけで、農地管理によるCO_2削減効果を推定できます。

トップページ
http://soilco2.dc.affrc.go.jp

「土壌のCO_2吸収」ってどういうこと？

農地にすき込む堆肥や緑肥の量を増やすと、土壌の炭素量が増える分、大気中のCO_2が削減できます。

この削減量が「土壌のCO_2吸収量」です。



使い方は簡単！

1.農地の場所を選択

選択した場所の気象と土壌情報を自動的に読み込みます。

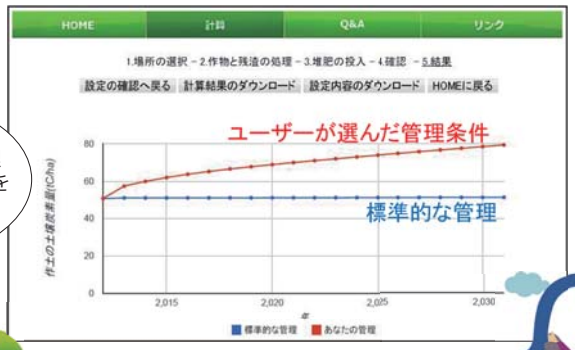
2.作物と管理方法を選択

メニューから選択します。
作物残さの量や堆肥施用量は、標準量が表示されるため、数値を入力する必要がありません。

＊データがある場合は入力することも可能です。

3.土壌炭素量の変化を計算

現在から20年後までの変化をグラフで表示します。



ユーザーが選んだ管理条件と、標準的な管理を比べられるよ

CO2吸収効果を乗用車の排出量に換算

4.温室効果ガスを総合評価

CO_2以外の温室効果ガスの発生量もCO_2に換算して表示します。

研究者から一言

このサイトを利用すると「どのような農地管理がどれだけCO_2を削減するか」を計算することができます。農家や行政、生産者団体など、多くの方々に活用いただき、農業部門からの温室効果ガスの削減につながることを期待します。

NIAES

国立研究開発法人**農業環境技術研究所**
〒305-8604　茨城県つくば市観音台3-1-3
Tel. 029-838-8148 Fax. 029-838-8199
URL www.niaes.affrc.go.jp

担当：　農業環境インベントリーセンター
温暖化緩和策リサーチプロジェクト

白戸康人 yshirato@affrc.go.jp
プロジェクトリーダー